

# 動物看護のプロとして

## ペットと飼い主に寄り添いたい

### 資格取得で 看護サービスの質もアップ

昨年5月、動物医療の高度化や多様化を見据えて、愛玩動物看護師法が施行された。それにもない今年2月には愛玩動物看護師の第1回試験が実施され、内灘町で『犬猫介護ホーム&ホテル』を営む輪島千華さんは、初挑戦でこの国家資格を取得して、春から新たな一歩を踏み出した。

専門学校卒業後、動物看護師として病院で12年間勤務し、すべての年代、様々な症状の動物を看護したという輪島さん。やってくる犬や猫の中には、高齢で介護が必要なものも多くいたが、あくまで病院は治療の場であって、それ以上のサポートや飼い主の心のケアなどは難しかった。本当にやりたいことを自問自答する中、ある動物看護師やドッグトレーナーとの出会いによって進むべき道を確認。県外でのセミナーなどにも積極的に参加し、最終的には夫の言葉で、気持ちが高まった。

「空いている部屋を使って、自分のしたい動物看護を試みたらどう？」

と言ってくれたんです。それで3年前に、動物と飼い主がゆっくりできる場所というコンセプトでスタートし、この春、個室を増やすなど施設を充実させました」

愛玩動物看護師の資格があれば、獣医師からの看護・介護指示書をもとにした投薬も可能になり、より丁寧な対応ができるようになったという。

### 動物も人間も心は一緒

動物が大好きな家庭で育った輪島さん。ハムスター、ウサギ、プレリードッグなど人気のペットからお祭りで買ったうずらの雛まで、たくさんの動物を大切に育ててきた。弱った動物を自転車のかごにのせて、病院にひとり駆け込んでくる輪島さんに、病院スタッフはいつもやさしくしてくれた。動物看護師の存在が身近になり、迷うことなくその道に進んだ。

現在の日本では、総人口の4割の人がペットを飼っているとも言われている。だからこそ、入院時や災害避難時に必要とされるペットの知識

を、飼い主にはもっと知って欲しいと輪島さんは言う。

「たとえ健康な子であっても、初めての場所でケージに入れられては、緊張するのは当たり前で、キャンキャン吠えたり、よだれをたらたら流したりします。自分の糞を踏んだりするのも緊張ゆえで、もともと動物はきれいな生き物ですから、普通それはありえないんです。ですから、自宅でもクレート（屋根付きハウス）に入る練習などをしてもらえば、クレートごとお預かりできますし、それがペット自身の心の安定と、飼い主さんの安心につながると思います」

### ペットと生きるということ

事前カウンセリングでペットの様子を把握したうえで、訪問介護、デイサービス、1泊預かりなど、飼い主の希望に合わせて柔軟に対応。病状が重い動物に関しては、室内に設置したカメラの映像をスマートフォンでチェックできるようにしており、訪問看護で輪島さんが外出中でも、見守りを継続できる。

犬猫介護ホーム&ホテル

Rocco

ろっこ

「愛玩動物看護師の資格を取得して、医療の面からも責任をもって動物のお世話ができるようになりましたが、まだまだ勉強の毎日です。私の仕事で、飼い主の方やペットが健やかでいてくれたなら、それが何より幸せですね。もしこの仕事をしていなかったら、とてもつまらない日々かもしれない」

人間と同様、ペットも高齢化が進んでいる。可愛いはずのペットを、十分に世話できない飼い主も増えていくという。愛玩動物看護師に相談するという選択肢は、ペットと飼い主がより良い関係であるために、これからの時代、なくてはならないものになる。汚れた子犬の足を一本一本丁寧に拭き取る輪島さんの姿に、心強さを覚える愛犬家、愛猫家はきっと多いだろう。



看板のイラストは、輪島さんのペットがモデル。『Rocco』の強みは、最新機器を駆使した充実のケアと、分け隔てのない動物への愛情。ペットホテルに預けられないと悩む飼い主たちの、良き相談相手になってくれる。



犬猫介護ホーム&ホテル Rocco 2023年4月リニューアル

●河北郡内灘町大根布9丁目6番地 ●TEL 090-8099-0835 ●営業/9:00~18:00 ●定休/不定休